

技術・家庭科（家庭分野）調査資料1-1

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>項目</span> <span>書名</span> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>新編 新しい技術・家庭 家庭分野</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 東 書</span> </div>
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「学習の目標」を明確に示し、「学習のまとめ」で学習状況を確認できるようにしている。必ず定着させたい「基礎技能」をまとめて掲載してある。</li> <li>○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、写真や図版を多く掲載し、身近な生活や社会における具体的な課題や題材を取り上げている。</li> <li>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、「考えてみよう」「生活に生かそう」などの活動例を示し、主体的に学習するための工夫がされている。</li> </ul>
特 内 色	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○編ごとに「学習のまとめ」のページがあり、「学習を振り返ろう」「学習したことを確かめよう」で生活に必要な知識や技能の習得状況を確認することができる。</li> <li>○「基礎技能」ページで基礎的な技能を写真やイラストを使い説明し、習得し、生活で生かせるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「話し合ってみよう」などの活動やロールプレイングなどの実習例を設け、言語活動を充実させて、思考力、判断力、表現力を高めるように工夫している。</li> <li>○生活を営む上で生じる課題を解決する能力と態度を育てるために、「生活の課題と実践」では、課題を解決するために、計画、実践、評価、改善の流れを示している。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各節の導入には「始めの活動」を設け、関心・意欲を高められるようにしている。</li> <li>○関連する学習内容には「リンクマーク」を設け、学習内容の理解を深めるようにしている。他の教科や道徳に関連する内容がある場合は「他教科」を付して、横断的に学習を深められるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な活動例が提示されている。調理実習では、手順を写真でわかりやすく展開している。献立調理と単品調理を掲載し、実態に応じて活用できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活の課題と実践」では、実践の流れを1「課題の発見」2「計画」3「実践」4「振り返り、見直し」5「改善」6「次の課題」と共通した流れで示している。</li> <li>○「プロに聞く」「学んだことを社会に生かす」などを取り入れ、将来や社会とのつながりが考えられるように工夫されている。</li> <li>○衣生活の実習例の後には、「私のオリジナル」を掲載し、自分なりのアイデアを引き出すための工夫がされている。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな学校や地域、生徒の実態に応じて、多様な指導計画に対応できるよう、写真や図表、イラスト、日本と海外の比較資料など豊富な資料が掲載されている。</li> <li>○「手ばかり・目ばかり」の食材や幼児の靴や箸などを実物大の写真で取り上げられている。</li> <li>○巻頭の「持続可能な社会を目指して」や省エネ、エコクッキングなど環境に関する資料を示している。また、防災に関する内容も取り上げている。</li> </ul>
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1～4編の文字囲の色分けがされ、爪見出しで編と章の数字を色で囲み、学習の内容がわかりやすくなっている。</li> <li>○題材名や資料部分はゴシック体、内容文はUDフォントが使われ、重要語句は太字で表記されている。</li> <li>○ページの左下に、クイズを示し、次のページに答えを掲載している。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な内容を踏まえて、応用・発展的な内容を学習できるように系統的・発展的に組織されている。生徒の生活経験や学校や生徒の実態にも弾力的に対応できるよう、題材が工夫されている。</li> <li>○ガイダンスの後、B（食生活）、C（衣・住生活）、A（家族）、D（消費・環境）、「生活の課題と実践」（選択）の内容の順序に配列されている。</li> </ul>

項目 書名	新技術・家庭 家庭分野 <span style="float: right;">6 教 図</span>
教育基本法、 学校教育法の 下、学習指導 要領の教科の 目標とのかか わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、本文で丁寧に記述し、さらにイラストや写真を用いてわかりやすく解説されている。</li> <li>○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、図やグラフ、写真、専門家の声などを多く掲載し、考えたり、調べたりする手がかりにしている。</li> <li>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、実習例や問いかけを多くし、「生活の課題と実践」では、手順や方法を詳細に示して問題解決学習をしやすくしている。</li> </ul>
特 色 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各節ごとに「学習の目標」や「キーワードチェック」、内容のまとめりに「学習のふり返し」があり、書き込みをしながら基礎的・基本的な事項の確認ができる。</li> <li>○「やってみよう」「実習」「実験」などで実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術が習得できるように題材が工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「考えよう」「話し合おう」「まとめよう」などの学習活動が設けられ、課題解決能力やコミュニケーション能力を高める工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親しみやすいキャラクターのつぶやきが、生徒の気づきを促し、自分から考えたり、調べたりするきっかけとなるよう工夫されている。</li> <li>○各章や節の導入では「自立度チェック」や「クイズ」を活用し、自己の課題を発見し、興味・関心を持って学習に取り組むようになっていく。また、主体的に学習する際のヒントとなる「参考」や「ポイント」が示されている。</li> </ul> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が興味を持って学習に取り組めるように多くの実習例が示されている。イラストや写真を使って丁寧に手順や方法が説明されていて活動のイメージを描きやすい。</li> <li>○調理実習題材は主食、主菜、副菜、汁物、デザート・間食に分けて豊富に調理例が掲載されており、組み合わせで1食の献立となるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活の課題と実践」では、手順・方法を見開きで構成している。ステップ1「課題を見つける」2「計画を立てる」3「実践する（課題の解決）」4「まとめる・発表する」5「ふり返る」6「次の実践へつなげる」の共通の流れで例示している。</li> <li>○内容の「学習のふり返し」の「学習をこれからの生活にいかそう」では、学習の成果を生活に生かせるように具体的な取組や実践が示されている。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真や図、イラストから内容を理解することができるように、文章と画像の両方の資料を効果的に掲載している。</li> <li>○食材の切り方や子どもの手形などの原寸大写真を掲載し、比べたり、実感したりできる資料になっている。</li> <li>○日本と海外の比較資料、伝統文化、防災に関する資料も掲載している。</li> </ul>
表 記・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○爪見出しを各内容と章別に色分けし学習内容を短い言葉で示している。</li> <li>○題材名や資料部分はゴシック体、内容文はUDフォントが使われ、重要語句は太字で表記され、イラストの吹き出しや記入例などは手書きに近い書体が使われている。</li> <li>○調理実習の材料を6つの基礎食品群に分類し、サイコロの目で分類を表している。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な内容から発展的な内容までが系統的に掲載されており、生徒の実態に応じて授業が展開できる。</li> <li>○「学習の目標」を明記したり、「キーワードチェック」や「学習のふり返し」として確認問題を掲載したりして、自学自習ができる構成になっている。</li> <li>○ガイダンスの後、A（家族）、B（食生活）、C（衣・住生活）、D（消費・環境）の内容の順序に配列し、「生活の課題と実践」（選択）を各内容の後に掲載している。</li> </ul>

書名		技術・家庭（家庭分野）	9 開隆堂
項目			
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、本文や図表が要点をおさえて丁寧に記述されている。写真や図版は大変わかりやすく、理解を促すための工夫がよくなされている。</p> <p>○生活と技術とのかかわりについて理解を深めさせるために、写真や図版を多く掲載し、「参考」や「探究」では生活の技術のかかわりに関する内容が掲載されている。</p> <p>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、各題材ごとに「ふり返り」や「生活に生かそう」が設定されている。また、「生活の課題と実践」では、実践例を多く掲載するとともに、手順や方法を詳細に示して問題解決的な学習をしやすくしている。</p>		
特 内 容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫&gt;</b></p> <p>○各題材の導入や学習過程で課題が示され、実践的・体験的な学習活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術が習得できるように工夫されている。</p> <p>○「学習の目標」「小課題」「ふり返り」が設定され、さらに各題材の「学習のまとめ」で「学習をふり返ろう」や「生活に生かそう」が設定されていることで、自己評価や生活への活用ができるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○「考えてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」などの学習活動が設けられ、課題解決能力やコミュニケーション能力を高める工夫がされている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○本文では学習項目ごとに設定された導入課題で問題意識を持たせ、自ら解決しようとする態度を養うように工夫されている。</p> <p>○学習活動を促す様々な観点を各種マークでわかりやすく示し、主体的に学習に取り組ませるようになっている。</p> <p><b>&lt;実践的・体験的な学習活動を行う工夫&gt;</b></p> <p>○生徒が興味を持って学習に取り組めるように多くの実習例が示されている。写真や図版、イラストを使って手順や方法が説明されていて、体験的な学習に生かすことができる。</p> <p>○調理実習題材は、単品を豊富に取り上げ、さらに「プラス1」を掲載し、組み合わせで1食の献立として調理できるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○各題材とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順に、系統的・発展的に組織されており、問題解決的な学習が無理なく展開できるように工夫されている。</p> <p>○「生活の課題と実践」では、実践の流れをステップ1「課題」2「計画」3「実践」4「結果」5「評価」の共通した流れで示していて、実践的な学習をしやすくしている。</p>		
資 料	<p>○基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、技能写真やイラストを効果的に使用している。食材や子どもの手形、足形などの原寸大写真を掲載し、比べたり、実感したりできる資料になっている。日本と海外の比較資料も掲載している。</p> <p>○環境問題、伝統文化、安全・防災、言語活動に関する資料を随所で取り上げている。</p>		
表 記 ・ 表 現	<p>○A～Dの内容ごとに色分けし、爪見出しには、関連する写真やマークを掲載している。</p> <p>○題材名や資料部分はゴシック体、内容文はUDフォントが使われ、重要語句は太字で表記されている。</p> <p>○各ページの下部分に「豆知識」を掲載している。</p>		
総 括	<p>○学習内容が生徒の生活経験や発達段階に十分配慮されており、各題材が系統的・発展的に組織されている。学校や生徒の実態にも弾力的に対応できる。</p> <p>○ガイダンスの後、A（家族）、B（食生活）、C（衣・住生活）、D（消費・環境）の内容の順序に配列し、巻末に「生活の課題と実践」（選択）を掲載している。</p>		